

JENESYS2017 招へいプログラム第12陣の記録

対象国：インドネシア，タイ，ミャンマー

テーマ1：（文化・技術） 日本文化交流（インドネシア）

テーマ2：（文化） 日本語コミュニケーション・日本文化交流
（タイ・ミャンマー）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」の一環として、インドネシアより大学生および引率者20名、タイより大学生、大学院生および社会人26名、ミャンマーより大学生、大学院生および社会人34名が2017年12月5日～12月12日の日程で来日し、「日本文化交流」および「日本語コミュニケーション・日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は日本理解講義を通じて、今日の日本や自国との違いを学びました。その後各国グループに分かれて都内と地方を訪問しました。各訪問県での学校交流やホームステイで同世代との交流を通じ、幅広く日本の歴史や文化を理解する機会がありました。

また、日本人との交流を通して日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

インドネシア 20名、タイ 26名、ミャンマー 34名

【訪問地】

東京都（80名）、茨城県（20名）、北海道（26名）、兵庫県（34名）

2. 日程

インドネシア：（文化・技術） 日本文化交流

12月5日（火） 来日

【オリエンテーション】

【歴史的建造物等視察】東京都庁・皇居

12月6日（水）

【日本理解講義／基調講演】

【学校交流】拓殖大学

【文化体験】原宿（竹下通り・表参道）

12月7日（木）

都内から茨城県へ移動

【地方自治体表敬訪問】茨城県庁

12月8日（金）

【歴史的建造物等視察】日鉱記念館

【文化体験】古民家「荒蒔邸」（餅つき・田舎料理作り）

【歴史的建造物等視察】竜神大吊橋

【ホームステイ対面式】
 12月9日(土) 【ホームステイ】
 12月10日(日) 【地域の人々との交流会】
 【ワークショップ】
 【歴史的建造物等視察】吉田正音楽記念館
 12月11日(月) 地方から都内へ移動
 【最先端技術視察】日本科学未来館
 【歴史的建造物等視察】浅草寺
 【報告会】
 12月12日(火) 離日

タイ：(文化) 日本語コミュニケーション・日本文化交流

12月5日(火) 来日
 【オリエンテーション】
 12月6日(水) 【日本理解講義／基調講演】
 【歴史的建造物等視察】浅草寺
 【都内視察】深川江戸資料館
 12月7日(木) 都内から北海道へ移動
 【基調講演】ASEAN 事務局
 12月8日(金) 【学校交流】苫小牧工業高等専門学校
 【ホームステイ対面式】
 12月9日(土) 【ホームステイ】
 12月10日(日) 【地域の人々との交流会】
 【ワークショップ】
 12月11日(月) 地方から都内へ移動
 【最先端技術視察】日本科学未来館
 【報告会】
 12月12日(火) 【文化体験】秋葉原
 離日

ミャンマー：(文化) 日本語コミュニケーション・日本文化交流

12月5日(火) 来日
 【オリエンテーション】
 12月6日(水) 【日本理解講義／基調講演】
 【都内視察】江戸深川資料館
 【歴史的建造物等視察】浅草・仲見世
 12月7日(木) 都内から兵庫県へ移動
 【防災関連施設視察】人と防災未来センター
 【地域産業・企業視察】カワサキワールド・神戸海洋博物館
 【商業施設訪問】神戸ハーバーランド umie

12月8日(金) 【地域産業・企業視察】カネテツデリカフーズ株式会社
 【歴史的建造物等視察】湊川神社
 【学校交流】甲南大学
 【ホームステイ対面式】

12月9日(土) 【ホームステイ】

12月10日(日)

 【地域の人々との交流会】
 【ワークショップ】

12月11日(月) 地方から都内へ移動
 【最先端技術視察】日本科学未来館
 【報告会】

12月12日(火) 離日

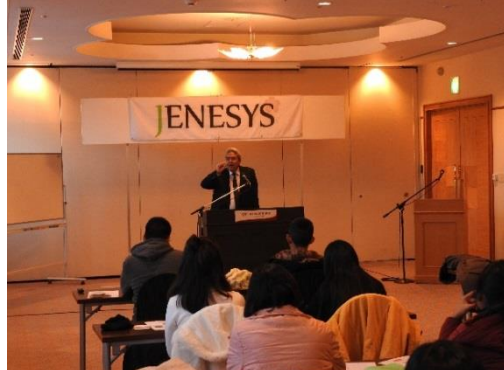
3. プログラム記録写真

インドネシア：(文化・技術) 日本文化交流

	
12/6 【学校交流】 拓殖大学	12/7 【地方自治体表敬訪問】 茨城県庁
	
12/8 【歴史的建造物等視察】 日鉱記念館	12/8 【文化体験】 古民家「荒蒔邸」

	
12/9 【ホームステイ】	12/11 【報告会】

タイ：(文化) 日本語コミュニケーション・日本文化交流

	
12/6 【日本理解講義／基調講演】	12/7 【基調講演】 ASEAN 事務局
	
12/8 【学校交流】 苫小牧工業高等専門学校	12/9 【ホームステイ】
	
12/10 【地域の人々との交流会】	12/11 【報告会】

ミャンマー：(文化) 日本語コミュニケーション・日本文化交流

	
12/6【日本理解講義／基調講演】	12/6【都内視察】江戸深川資料館
	
12/8【地域産業・企業視察】カネテツデリカフーズ株式会社	12/8【学校交流】甲南大学
	
12/10【地域の人々との交流会】	12/11【報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

インドネシア

◆ インドネシア 学生

ホームステイはとても思い出深い経験となりました。日本人の生活を実際に体験し、感じる事ができ、また、日本文学部の学生としてこれまで学んできたことを様々な場面で活かすことができました。学校交流では、ゲームやインドネシアや日本のことについて情報交換をしながら、新しい友人がたくさんできました。また、茨城県庁を訪問することができてとても光栄でした。

◆ インドネシア 学生

拓殖大学での講義では、日本は江戸時代後と第二次大戦後の2回、大きな改革、経済成長を遂げたことを学びました。また、茨城県庁訪問では、県側の住民への対応、また私達への対応が親切だと感じました。また県議会の傍聴をさせて頂きました。ホームステイで一番印象に残ったのは、地元の温泉に行ったことです。多くの外国人が恥ずかしがるという文化に挑戦し、実際に体験することができました。ホストファミリーは日本の文化や作法にあった正しい食事の仕方を教えてくれました。

タイ

◆ タイ 学生

基調講演では、日本の文化や教育のことだけでなく、ASEANについても知識を得ることができました。学校交流では、日本の教育制度がタイの制度とどう異なっているのかよく分かりました。また、何が良くて、何が悪いのかなど、教育に関する価値観についても違いを理解することができました。ホームステイは日本語を使って日本の生活を送ることができてとても良い経験となりました。

◆ タイ 学生

苫小牧工業高等専門学校に行ってみて感じたことは、学校の中がどこもとても清潔だったことです。学校の中もとても近代的でハイテクで驚きました。ホームステイでは、布団で寝たことが一番の思い出です。折り紙や書道を体験したり、日本語とタイ語を使って交流したり、様々な文化の交流もできました。とても親切で素敵な家族でした。

ミャンマー

◆ ミャンマー学生

空港からホテルへの道のりで、日本の建物や道路、植木など、全てが清潔で整備されていることに驚きました。日本人は、自分のことだけを考えるのではなく、他の人々のことを考え行動していると感じました。神戸への新幹線を待っている時には、7分間という限られた時間で清掃をする清掃員の方々の姿に感心しました。自然災害の予防に関する講義では、地震で甚大な被害を受けた地域が短期間で復興できたことは、周りの人々の支援と日本人の諦めない努力と精神があったからだということを知りました。

◆ ミャンマー学生

日本では、渋滞や騒音があまりなく、他人に迷惑をかけないよう気配りしていることに気づきました。神戸では、自然災害の恐ろしさを学びました。技術が発展した日本でさえ、自然災害が起これば様々な困難に直面するので、我が国は自然災害に対し軽率に考えてはいけないということに気づきました。ホームステイでは日本人の習慣を学ぶことができました。

5. 受入れ側の感想

インドネシア

◆ 学校交流関係者

言葉がお互いに十分でない学生同士が、身振り手振り、また知っている最低限の言葉を用いながら交流を図り親睦を深めている姿から、参加学生は他には代えがたい経験を得ることができたのではないかと思います。

◆ 学校交流参加学生

今年の夏休みにインドネシア研修に参加した際、現地の学生や先生に温かく迎えてもらったので、今回は自分が恩返しできれと思い参加しました。インドネシアの学生はとてもフレンドリーですぐに仲良くなることができました。言葉の壁はありましたが、自分の伝えたいことが伝わった時はとても嬉しかったです。

タイ

◆ ホストファミリー

日本語がとても上手でコミュニケーションが取りやすかったです。忍者体験をしましたが、一番喜んだのは乗馬とスーパーマーケットでした。タイ語や英語を教えてもらいました。子供たちととても仲良くなってくれて良かったです。

◆ ホストファミリー

神社に連れていったところ、絵馬があり干支の話をすると、タイにも干支のようなものがあるということを教えてくれました。タイと日本では共通する文化があることをすることが出来ました。たった3日間でしたが、子供たちととても仲良くなり、また会おうと約束していました。

ミャンマー

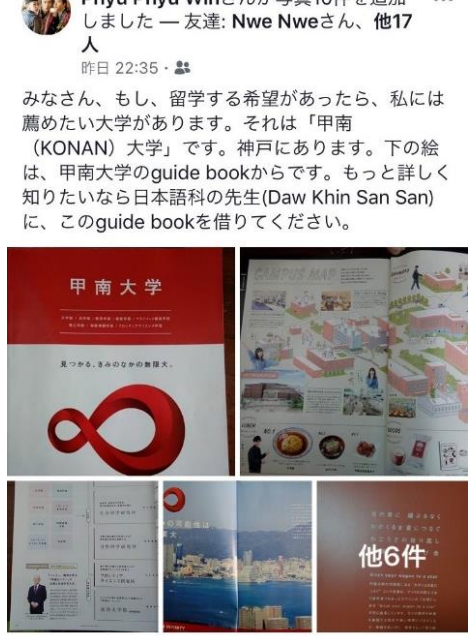
◆ 学校交流参加学生

異文化に触れることができとても良い機会だったと思います。日本文化に興味を持ってもらえて嬉しかったです。またこのような機会があれば参加したいと思いました。

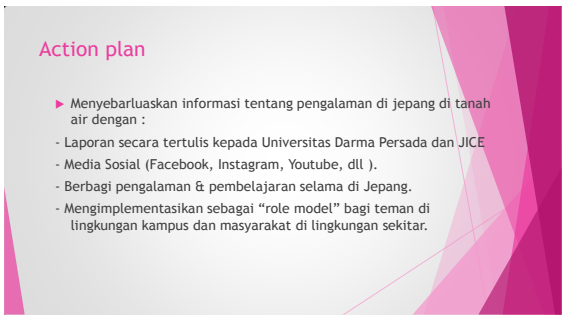
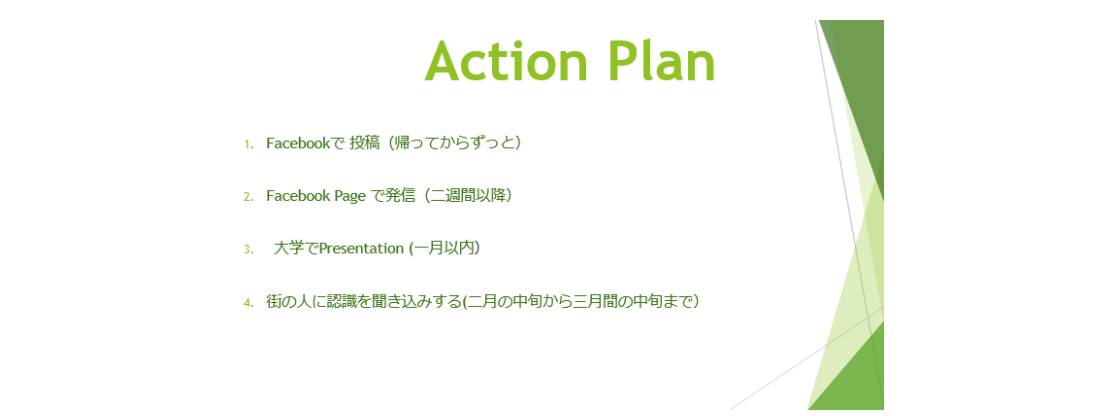
◆ ホストファミリー

ミャンマーのことを少し理解することができました。穏やかで細かい心遣いができる国民性は日本人と似ていてとても好印象でした。最後には心のこもった手紙を頂き感動しました。この学生たちが日本とミャンマーの架け橋となって活躍してくれることを信じています。

6. 参加者の対外発信

 Instagram post by eirinafathin showing a group photo of participants in front of a building. The caption mentions "deviazuraa, rahikawijaya dan 41 lainnya" and "Make it a December to Remember" with hashtags #imperialpalace, #JENESYS2017, #JICE, #JAPAN, and #INDONESIA.	 Instagram post by haniys_ showing a group photo of participants in front of Takushoku University. The caption mentions "昨日は拓殖大学へ行きました。新しい友達に会いました。" with hashtags #jice, #jenesys, and #indonesia.
(インドネシア) 日本についての発信 (Instagram) みなさん、12月を思い出にしましょう。	(インドネシア) 拓殖大学についての発信 (Instagram) 昨日は拓殖大学へ行きました。新しい友達に会いました。
 Facebook post by Kami Mochi'Pasta showing photos of a classroom and a group of people. The caption mentions "สถานศึกษาโตเกียว, โทโฮกุในโตเกียว" and "การบรรยาย (ข้อ) ข้าราชการที่ดี".	 Facebook post by Phyu Phyu Win showing a collage of photos including a red infinity symbol and a map of Japan. The caption mentions "Phyu Phyu Winさんが写真10件を追加しました" and "友人: Nwe Nweさん、他17人".
(タイ) 苫小牧工業高等専門学校についての発信 (Facebook) 講義はどれも面白かった。とても分かりやすかった。	(ミャンマー) 甲南大学について (Facebook) 日本へ留学の希望があれば、神戸にある「甲南大学」を勧めます。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

 Action plan ▶ Menyebarluaskan informasi tentang pengalaman di Jepang di tanah air dengan : - Laporan secara tertulis kepada Universitas Darma Persada dan JICE - Media Sosial (Facebook, Instagram, Youtube, dll). - Berbagi pengalaman & pembelajaran selama di Jepang. - Mengimplementasikan sebagai "role model" bagi teman di lingkungan kampus dan masyarakat di lingkungan sekitar.	 ・ H A P P I N E S S ・ THE PEACEFUL OF THIS COUNTRY
アクション・プランの発表 1（インドネシア） ・ ダルマプルサダ大学と JICE に報告書を提出する ・ 日本滞在中の経験，学びを Facebook，Instagram，YouTube などの SNS で情報発信を行う ・ キャンパスや周囲の人たちにとって良い手本となる ・ 交通ルールや防災意識をつける	アクション・プランの発表 2（タイ） ・ JENESYS Thailand 2017 のページを作成 ・ レポートや発表を行う ・ Facebook に投稿する
 Action Plan 1. Facebookで 投稿（帰ってからずっと） 2. Facebook Page で発信（二週間以降） 3. 大学でPresentation（一月以内） 4. 街の人に認識を聞き込みする（二月の中旬から三月間の中旬まで）	
アクション・プランの発表（ミャンマー） ・ Facebook などの SNS へ投稿 ・ 大学で発表を行う	